銀の風

Vol.52
2026.11

- 第10回大田市立病院 病院まつり
- 診療科紹介／内科（内分泌代謝内科）
- おおだの医療を支える
  ー病院スタッフの１日ー（病棟看護師編）
- 市立病院からのお知らせ
  - 令和8年熊本地震災害支援DMAT活動報告
  - 出前講座
    『大田総合医育成センター×大田市立病院』
  - 着任医師紹介
  - 「日本医療マネジメント学会
    第24回島根学術集会」に参加しました

『銀の風』は世界遺産「石見銀山遺跡」から着想を得ています。
「石見銀山遺跡とその文化的景観」は人類の平和と人権の尊重をめざすユネスコの世界遺産に登録されています。



もっと身近に もっと笑顔に
第10回 大田市立病院 病院まつり
～ありが10（とう）の気持ちをこめて～

10月18日(日)に開催した「第10回大田市立病院 病院まつり」では、およそ800名の皆さまにご来場いただきました。

当日は、医師による市民フォーラムをはじめ、世代を問わず楽しめる医療体験コーナー、防災ヘリと消防車の展示、神楽公演など様々な催しで地域の皆さまと交流できる1日となりました。

ご来場いただきました皆さま、誠にありがとうございました。

市立病院からのお知らせ

令和8年熊本地震災害支援DMAT活動報告

当院のDMAT（災害派遣医療チーム）は、令和8年熊本地震に伴う災害支援活動を8月2日・3日の2日間、熊本県宇城市で行いました。





■DMAT活動チーム編成
医師1名、看護師2名、業務調整員2名の5名が現地で活動（当院DMAT隊員は12名所属しています）

■支援活動の内容
・災害ボランティアセンターにおける救護所運営
・宇城市社会福祉協議会における電話相談対応や体調不良者への訪問診療

■活動を通じて
平成28年の熊本地震、平成30年7月西日本豪雨（広島）につづき、今回で3回目となる被災地での活動は、現地に入って初めて、電話や事前資料だけでは見えてこない課題や多様なニーズが見えてきました。限られた医療資源の中で、現場において何が最も必要なのかを常に考え、柔軟に行動することの大切さを再認識する活動となりました。

今後も地域の皆さまの安心・安全を守るとともに、災害時には迅速かつ適切な医療支援が行えるよう体制強化と訓練に取り組んでまいります。

出前講座『大田総合医育成センター × 大田市立病院』

9月14日、大田市立久屋小学校を訪問し「学校保健のおはなし」と題して、島根大学医学部のサテライトキャンパスである大田総合医育成センターの本田聡センター長と大田市立病院　総合診療科の向田千夏医長が出前講座を行いました。



「歯磨きの大切さ、喫煙と飲酒の影響や危険性、がんになる原因」について、5・6年生を対象にわかりやすく講演しました。参加した児童からは、「お酒とたばこが良くないと思った。きちんとした食生活でバランス良く食事をしたい。」と感想がありました。

出前講座は、令和9年2月末まで募集を受け付けておりますので、お気軽にご利用ください。

【お問合せ先】事務部 総務課（0854）82-0330（代）

着任医師紹介



大田圏域の小児医療のために精一杯頑張ります。
小児科 医長　石本 千夏
（９月１日着任）



これまでの消化器内科と緩和ケア診療の経験を活かし、地元大田市の医療のお役に立てるよう頑張ります。
消化器科 医長　鈴木 由華
（11月１日着任）

「日本医療マネジメント学会 第24回島根学術集会に参加しました」



当院の渡津真由美看護師長と三宅美穂副看護師長の2名が、日々の医療現場で取り組んでいる、「転倒・転落の防止に向けた離床センサーの活用」と「患者さんの取り違えを防ぐための取り組み」についてポスター発表しました。

患者さんの安全を守ることは、医療に携わる私たちの大切な責務です。これからも職員一丸となって、安全で安心できる医療の提供に取り組んでまいります。

和誠奉仕

1)大田二次医療圏の中核病院として、５疾病６事業を中心とした急性期医療を提供します。
2)病病・病診連携により、圏域に必要な医療提供に努めます。
3)地域での必要度の高い疾病に対し、保健・福祉と連携した予防から介護までの一体的医療サービスを提供します。
4)訪問看護等を通して在宅医療や地域医療の向上に寄与します。
5)医療水準の向上と安全な医療環境整備に努めます。
6)職員相互の協調によるチーム医療の実践と、よき医療人としての人材育成に努めます。

大田市立病院HP　facebook

発　行：
大田市立病院
広報委員会

〒694-0063
島根県大田市大田町吉永1428-3
TEL：0854-82-0330　FAX：0854-84-7749

大田市立病院の様々な情報をホームページ・facebookに掲載しています。

おおだの医療を支える―病院スタッフの１日
―(病棟看護師編)―

医療現場の様子や病院スタッフの仕事をシリーズで紹介していきます。

病棟看護師のとある１日

・担当患者さんの情報収集
（電子カルテより、患者さんの状態・医師の指示・看護計画の確認）

・病棟全体での申し送り

・多職種カンファレンス　01

・日々の看護ケア　02
- 血圧測定・検温・観察
- 点滴・処置
- 清潔ケア
- ナースコールの対応
- 入院患者の受け入れ
- 退院患者の対応

・看護記録

・退院支援カンファレンス

・ご家族、関係機関への情報提供や退院前訪問指導　03

・「認知症看護研修」

大田市立病院　看護部理念
『地域の皆さまに信頼され、安全・安心な看護を提供します。』

看護部は、総勢242名の助産師、看護師、准看護師、看護補助者が、病棟、外来、手術・中央材料室、医療安全管理室、感染対策室、地域医療連携室、訪問看護ステーションと幅広い部署で、患者さんに24時間接する職種として重要な役割を担っています。

看護部理念をもとに、一人ひとりの「その人らしさ」に寄り添い、安心と納得につながる看護の提供を何より大切にしています。

各病棟で機能が分かれており（急性期病棟、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟）、それぞれの病棟で対象となる患者さんの受入れをしています。

病棟看護師は、各病棟で医師の診療の補助や治療が円滑に受けられるように患者さんの状態を把握し、療養環境を整え日常生活の援助を行います。

患者さん一人ひとりの看護計画に沿ったケアの実施や状態などを記録しスタッフで共有しています。

01 多職種カンファレンス



医師、看護師、薬剤師、地域医療連携室スタッフ、リハビリスタッフ、管理栄養士で患者さんの治療方針や退院に向け必要な支援を検討しています。

また、患者さんやご家族の希望に応じて、退院後も安心して生活を送れるよう、切れ目のない支援を行っています。

02 日々の看護ケア



患者さんが安心して治療を受けられるよう、看護師が様々なケアを行っています。体温や脈拍、血圧などを定期的に測定し、体調の変化をいち早く見つけることは、毎日の大切な仕事です。

点滴の管理や処置を行う際は、痛みや不安がないかを丁寧に確認しながら進めていきます。ナースコールや、気分が悪いとき、手助けが必要なときはすぐに駆けつけ、患者さんの不安を和らげるような声かけや対応を心がけています。

看護師は、患者さん一人ひとりに寄り添い「安心」して過ごせるよう日々のケアに取り組んでいます。

03 ご家族や関係機関への情報提供や退院前訪問指導



患者さんが退院後も安心してご自宅で生活できるよう、退院前に医療スタッフがご自宅を訪問し、生活環境や必要な支援について一緒に確認します。また、ご家族や関係機関へ病院での入院中の様子や情報を共有し、退院後の生活がスムーズに始められるよう準備しています。

地域の皆さまと連携し、住み慣れた場所でその人らしく暮らし続けられるようサポートしています。

診療科紹介／内科（内分泌代謝内科）



清原　信昭
内科 部長

◆診察日　金曜日

内科（内分泌代謝内科）では、糖尿病、脂質異常症などの診療を行うとともに、甲状腺、副甲状腺、副腎、下垂体疾患などの内分泌疾患に対して島根大学医学部附属病院と連携して診療を行っています。

今回は、内科（内分泌代謝内科）で診察している代表的な病気についてご紹介します。

糖尿病

糖尿病は、血糖値（血液中に含まれるブドウ糖）が慢性的に高くなる疾患です。

血糖値は、膵臓から分泌されるインスリンというホルモンが少なくなったり働きが悪くなることで高くなります。血糖値が高くなると、尿量の増加、喉の渇き、倦怠感、体重減少などの症状が現れますが、初期では自覚症状が出ないこともあります。

また、血糖値が高い状態が続くと、血液中のブドウ糖が血管を傷付けることにより合併症が生じます。目や腎臓、神経が障害される合併症が糖尿病に特有ですが、それ以外にも脳梗塞、心筋梗塞、閉塞性動脈硬化症などの大きな血管の障害の原因にもなります。

糖尿病になる原因は、主に生活習慣や体質がありますが、膵臓の病気や内分泌異常などの他の病気が隠れていることもあります。特定健診などで初めて糖尿病と診断された方や、急に血糖値が高くなった方などは生活習慣以外の原因を調べる必要があります。かかりつけ医に相談したり、当院を受診していただければと思います。

毎週金曜日の午前に、医師の診察糖尿病看護認定看護師による糖尿病看護外来も行っています。

甲状腺疾患

内分泌疾患の中で一番多い疾患です。甲状腺は喉仏の下の方にあり、体の代謝を調整する甲状腺ホルモンを分泌します。甲状腺ホルモンの分泌が過剰になると、頻脈、体重減少、発汗増加、手足の震えなどの症状がでます。また、甲状腺ホルモンの分泌が低下すると、徐脈、浮腫、体重増加、寒がり、脱毛などの症状がでます。

甲状腺ホルモンは、血液で検査することができます。健康診断で甲状腺の腫れを指摘されたことがある方は、ホルモン異常がある場合や甲状腺に腫瘍が存在する場合があります。当院では、血液検査以外にも甲状腺腫瘍に関してエコー検査、穿刺細胞診の検査を行っております。

【甲状腺エコー検査】
超音波を使って甲状腺の大きさや形、しこりなどを調べる検査です。検査自体に痛みがなく、放射線も使わないため、身体への負担が少ない検査です。

【甲状腺穿刺細胞診検査】
甲状腺にしこりが見つかった際に、そのしこりが良性か悪性かを調べる検査です。採血で使用している針でしこりから細胞を採取します。1時間程度で終了し日帰りで受けられます。





『糖尿病教室のご案内』

当院糖尿病チーム会が主催する糖尿病教室は、地域の皆さまの生活習慣を見直すきっかけづくりを目的に、年4回開催しています。

医師、看護師、臨床検査技師、管理栄養士、理学療法士などの多職種で構成されたチーム会メンバーが、それぞれの分野について、わかりやすくお話します。

【第3回糖尿病教室】
日時　12月4日（金）
　　15時～16時
場所　ココカラファイン薬局
　　大田市立病院店
　　2階会議室
内容　糖尿病看護認定看護師、管理栄養士によるお話、血圧・血糖測定

参加費は無料、事前の申込不要。どなたでも参加可能ですので、ぜひお越しください。

ぎんざんテレビ「銀の風～大田市立病院からのお知らせ」でも紹介します。
【放映日】
11月16日（月）午後5から
18日（水）午後4時まで
※期間中、毎時（1時間に1回）繰り返し放送されます。
【再放送】
11月21日（土）から23日（月）
★ぜひ、ぎんざんテレビもご覧ください。